



# 高輪だより 4月号

平成30年4月9日  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

入園・進級おめでとうございます

園長 柿沼 敦子

やわらかい春の日差しの中、園庭には様々な花が咲き、子どもたちを待っていました。

新入園児の保護者の皆様、お子様のご入園おめでとうございます。進級児の保護者の皆様、お子様のご進級おめでとうございます。

高輪幼稚園は、昭和50年に開園し、今年は43年目を迎えます。園庭は都会の中にもありながらも、サクラやモミジ、夏ミカン、カキなどの木々があり、緑豊かな自然に恵まれた幼稚園です。子どもたちが毎日のびのびと活動し、自分らしさを発揮しながら楽しく過ごせるように、そして明るい笑顔と笑い声が園舎に響くことを願っています。

高輪幼稚園の教育目標は

『やさしく、かしこく、たくましく、伸びる高輪の子』です。

4月から幼稚園教育要領が改訂となり、施行されます。幼児教育において育みたい「資質・能力」が整理され、その3つの柱は「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性」です。これらは遊びや生活の中で豊かな体験を通して育んでいくものであり、高輪幼稚園ではかねてより取り組んできました。

幼稚園の遊びは、大切な学びであり、小学校以降の生活や学習の基盤となります。幼児の主体的な活動を通して自然豊かな環境の中で、遊びを通して豊かに感じ、よく考え、体を動かし、人との関わりを楽しむ子どもたちを育成していきます。

また、幼児期の教育は、家庭と幼稚園が連携し、連動して一人一人の幼児の育ちを促すことが大切です。お子様の健やかな成長を願い、保護者の皆様とともに子育ての楽しさを味わっていただけるよう、教職員一同、全力で教育の充実に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



園庭のサクラの木



園庭

